経営改善計画書

令和6年 4月 1日 ~ 令和9年 3月31日

法人名 住 所 由利本荘市鳥海町上笹子字堺台 100 番地

名 称 株式会社ほっといん鳥海

代表者名 代表取締役 佐藤 安隆

1. 会社の沿革

名 称	株式会社 ほっといん鳥海		電話番号		0184-59-2022		
設立年月日	平成16年2月4日		メールアドレス		hot-in.chokai@asahinet.jp		
資本金		30,000 千円	市出資金	16,500 千円	市出資	割合	55.0%
役員数	取締役	5名	監査役	2 名	株主総	数	48 名
従業員数	正社員	6名	嘱託社員	1名	パート 等	社員	13 名
事業内容	1.鳥海伏見生産物直売所「菜らんど」 2.鳥海そば等加工提供施設「ももや」(食堂) 3.鳥海農産物加工施設 4.鳥海多目的活性化広場 5.鳥海笹子生産物直売所「ほっといん鳥海」(売店、レストラン) 6.道の駅「清水の里・鳥海郷」に係る受託業務						

2. 組織図

(別 紙)

3. 財務諸表

(ア)貸借対照表 (千円)

項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和年度
総資産	46,102	45,397	46,009	43,256	
(うち現金預金)	42,131	42,289	42,552	39,899	
総負債	7,756	7,756	7,744	7,670	
(うち借入金)	0	0	0	0	
純資産	38,345	38,190	38,265	35,586	
(うち利益剰余金)	8,345	8,190	8,265	5,586	

(イ) 損益計算書 (千円)

項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和年度
売上高	45,173	48,561	50,747	53,773	
販売管理費	48,153	49,148	50,718	52,377	
(うち人件費)	27,577	28,622	30,053	31,550	
(指定管理料)	6,146	6,146	6,146	2,731	
経常損益	-1,356	39	333	-2,420	
当期損益	-1,540	-156	75	-2,604	

※詳細は別紙資料

※令和8年度の指定管理料は加工施設、多目的活性化広場のみの場合。

4. 経営改善にあたっての基本方針

売上向上の努力、冬期間の経費節減

5. 計画期間

6年4月1日 ~ 9年3月31日

6. 経営目標

目標売上高	・直売所部門の販売手数料率の見直し。現在の 12%から条例上限の 15%へ。 ・食堂部門は客単価を上げる。 ・令和 5 年度より+19%(令和 8 年度計画)
目標経常利益	・単年度黒字経営。
人件費等経常経費の削減	人件費は最低賃金が毎年上がっていく一方で、賃金単価を下げること は難しいが、冬期間の人件費削減を努力する。お客様へご迷惑がかか らない部分での経費節減は引き続き努力する。
累積損失の解消	
その他	

7. 改善計画の具体的施策

(ア)経営の現状(問題点)と改善計画

項目	現状(問題点)	改善計画
	・冬期間の売上減少と除雪費用が	・冬期間は直売所部門も短縮営業
	経営を悪化させている。食堂部門	をおこない、食堂部門は定休日を
	は冬期間短縮営業をおこなってい	設けるなど経費節減を目指す。冬
	るが直売所部門は通年営業時間が	季閉鎖は営業再開時の従業員確保
	変わらない。	が難しくなるため避けたい。
	・食堂部門のコロナ以降の客数の	・客数を伸ばすためにホームペー
事業効果の薄れたもの、	減少。	ジ等での積極的な情報発信、「鳥海
不採算部門の整理統合	・直売所部門の猛暑等の自然現象	でなければ味わえないメニュー」
	により農作物の不作、出荷者の高	の考案、イベント等の実施。リピー
	齢化による出荷量減少。	ターの確保。
	・加工施設の維持管理費が指定管	・出荷者を増やすために関係団体
	理料以上に掛り増ししている。	とのさらなる連携強化。販売手数
	・道の駅の維持管理費が業務委託	料率の見直し。
	料以上に掛り増ししている。	・加工施設は地元農産物を加工し

		付加価値を高め直売所売上に必要
		不可欠な施設となっており、収益
		性を上げるためには利用料の条例
		改定のお願い、引き続き経費節減
		の努力をする。
	・豪雪地帯で除雪費用は指定管理	・除雪費用は民俗芸能伝承館「まい
	料に頼っている。	ーれ」の除雪も請け負っているた
	・伏見生産物直売所は 24 時間開放	め指定管理料を考えていただきた
	しているトイレ・休憩所の清掃業	٧٥°
	務には道の駅の特性と類似してい	・利益を生み出さない施設等への
指定管理料に頼ること	るため指定管理料に頼っている。	指定管理料は考えていただきた
のない自立経営	・笹子生産物直売所は法的に必要	٧٥°
	な施設維持費 (保守点検料) は指定	・食堂部門の売上向上努力、原価率
	管理料に頼っている。	を抑える努力。
	・従業員を抱えて販売する体制で	・商品売上向上努力。
	は販売手数料(上限 15%)の収入	・販売手数料率の条例改正。
	源だけでは赤字経営になる。	
内部評価等事務事業の	問題点は特になし	
見直し		
	最小限の人員で業務にあたってお	
	り、直売所と加工施設の業務を兼	
組織形態の見直し、	務し、利益を生み出さない施設に	現在のところ見直しは考えていな
従業員の適正配置	は人員は配置していない。また、冬	ν ₂ ,
PC/RX - CEEFIGE	期間は利用客が減少するためパー	
	7,7,1,4,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,	
	トタイマーの労働時間を短縮して	
	トタイマーの労働時間を短縮して	
職務権限、責任の明確化	トタイマーの労働時間を短縮している。	今後も同様に業務にあたる。
職務権限、責任の明確化	トタイマーの労働時間を短縮して いる。 各店舗に店長を配置し、毎月の社	今後も同様に業務にあたる。
	トタイマーの労働時間を短縮している。 各店舗に店長を配置し、毎月の社 員会議で権限、責任を再確認していて支配人がまとめている。	今後も同様に業務にあたる。 利益剰余金が確保できたときに従
職務権限、責任の明確化 人事・給与制度の見直し	トタイマーの労働時間を短縮している。 各店舗に店長を配置し、毎月の社 員会議で権限、責任を再確認して	
	トタイマーの労働時間を短縮している。 各店舗に店長を配置し、毎月の社 員会議で権限、責任を再確認していて支配人がまとめている。	利益剰余金が確保できたときに従
	トタイマーの労働時間を短縮している。 各店舗に店長を配置し、毎月の社員会議で権限、責任を再確認していて支配人がまとめている。 賃金単価がほぼ最低賃金レベル。	利益剰余金が確保できたときに従 業員へ還元する。
人事・給与制度の見直し	トタイマーの労働時間を短縮している。 各店舗に店長を配置し、毎月の社員会議で権限、責任を再確認していて支配人がまとめている。 賃金単価がほぼ最低賃金レベル。 運営に必要な資格等は正社員をは	利益剰余金が確保できたときに従 業員へ還元する。 接客マナー等の研修を正社員だけ
人事・給与制度の見直し	トタイマーの労働時間を短縮している。 各店舗に店長を配置し、毎月の社員会議で権限、責任を再確認していて支配人がまとめている。 賃金単価がほぼ最低賃金レベル。 運営に必要な資格等は正社員をはじめ研修を受講させ取得してい	利益剰余金が確保できたときに従 業員へ還元する。 接客マナー等の研修を正社員だけ ではなく、パートタイマーにも受
人事・給与制度の見直し	トタイマーの労働時間を短縮している。 名店舗に店長を配置し、毎月の社員会議で権限、責任を再確認していて支配人がまとめている。 賃金単価がほぼ最低賃金レベル。 運営に必要な資格等は正社員をはじめ研修を受講させ取得している。	利益剰余金が確保できたときに従 業員へ還元する。 接客マナー等の研修を正社員だけ ではなく、パートタイマーにも受

(イ) 点検評価による現状(問題点)と改善計画

項目	現 状 (問 題 点)	改善計画
収 益 性	自立経営できる部門とできない部 門があるが有機的一括指定管理の 観点から見れば、全体的に収益性 は保たれていたが、自然環境の変 化により売上が大きく左右する年 が続いている。	・自然環境に左右されない安定して販売できる品目の開発。 ・冬期間の短縮営業による経費節 減。
健 全 性	累積赤字、借入金等はないので問 題はない。	
成長性	鳥海ダムは工事業者の利用、完成 してからの観光資源となり得るた め、成長性は見込める。	
効 率 性	従業員の平均年齢が低めの部門では最小限の人数で効率的に業務に当たっているが、平均年齢の高めの部門ではどうしも効率性は下がってしまう。	従業員を募集しても応募がほとん どなく、現在の従業員で協力して いかなければいけない。週1回の 定休日を設けるなど工夫する。

所	管	課

意 見	
改善指示事項	
行政改革推進本部	
意 見	
改善指示事項	